

関係精神療法セミナー

エナクトメントと至的応答性

関係精神分析ないし関係精神療法は、現代のアメリカの精神分析の新しい流れを総括するものであり、分析的な治療プロセスを患者と治療者の関係性における相互交流により創造され、構築されるものとして捉える立場である。昨年7月のこのセミナーでは、関係精神療法についての基本的な考え方について紹介した。関係性の理論は多くの学派に開かれた理論であり、精神分析の将来を担うものであるにもかかわらず、日本の精神分析においてはその基本理念がまだ十分に浸透しない現状がある。しかし昨年7月の当セミナーや精神分析学会の教育研修セミナーにおけるここ数年の企画を通して、また昨年出版された私どもによる「関係精神分析入門」の出版を通して徐々にその理解が広がりつつある。

今年「エナクトメントと至的応答性」と題して、関係精神分析、関係精神療法においてきわめて大きなテーマであるエナクトメントについて考える。エナクトメントとは、私たちの無意識が反映され、周囲の人々に応答を促すような私たちの行為 **act** として理解される。エナクトメントと似た概念としてアクティングアウト(行動化)があるが、それが本来生じるべきでないもの、病理を表現するものであるのと考えられているのに対し、エナクトメントは患者及び治療者により不可避免的に生じ、関係性の諸相を反映する生産的なものとしても理解されるという点が異なる。このエナクトメント及びそれに対する応答性の理解は私たちの日常臨床にきわめて大きな影響を及ぼすものと考えられる。

参考文献としてはこの「関係精神分析入門」(岩崎学術出版社、2011年)を挙げたい。

- ◆日 時 : 平成 24 年 7 月 22 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時
(進行具合により多少の延長も考えられます)
- ◆と ころ : 津田ホール 101・102 会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24 Tel 03-3401-1851
- ◆司 会 : 岡野憲一郎 (国際医療福祉大学)
- ◆発 表 者 : 富樫公一 (甲南大学)
吾妻壮 (大阪大学精神科)
岡野憲一郎
- ◆受 講 料 : 7,000 円
- ◆定 員 : 70 名
- ◆申込方法 : 参加申込書にご記入の上、郵送または FAX してください。
受講の可否をはがきにてご連絡いたしますので、はがきに記載の振込み先をご確認の上、受講料をお振込みください。
- ◆申 込 先 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4 SC ビル 6 階
小寺記念精神分析研究財団セミナー事務局 FAX 03-3350-9749
- ◆申込期限 : 平成 24 年 7 月 2 日 (月)

主催 : 小寺記念精神分析研究財団